

# 平成25年度会津若松市要介護認定調査員研修会 アンケート結果

平成25年9月30日に、会津若松市要介護認定調査員研修会を開催し、お忙しい中多くの調査員の皆さんに参加して頂きました。研修会終了後にご協力いただいたアンケート結果をまとめましたのでご覧ください。

皆さんからのご意見を参考に、今後の研修会の内容をより充実した、皆さんの為になる内容にしていきたいと考えております。研修会の内容等でご意見がありましたら、いつでもお聞かせください。



## ●「一次判定ソフトの基本的な構造(樹形モデル)」についての感想

良くわかった	わかった	普通	わからなかった
8	15	3	0

### 良くわかった

#### 【その理由】

- ・構造を理解した。
- ・実際樹形モデルを使って加算することにより要介護認定基準時間がわかり、一次判定結果がでることがわかった。
- ・買い物、調理の項目は初期の認知症を見るときに必要で軽度者ほど5群が重要であることがわかった。
- ・分かりやすい説明でよかった。食事や排泄、移動などそれぞれが相互に関連性をもって介護時間が抽出されているとわかった。
- ・資料を基に説明があったことと選択肢が変わった時にどのように変わるかの具体的な説明があった為。
- ・資料と説明とで十分に理解できた。
- ・現在の判定の仕方が分かってよかった。
- ・説明も分かりやすく理解できた。

### わかった

#### 【その理由】

- ・実際に演習をするとわかりやすかった。
- ・樹形が複雑で見慣れないと難しい。
- ・テンポが早く戸惑ったが、確認して理解できた。
- ・基本調査から要介護認定等基準時間をどのように推計するかがわかった。
- ・久しぶりに樹形モデルを見ました。調査の時に意識はしていませんが、選択によっては介護度への影響が大きいことを改めて認識しました。
- ・項目の選択の仕方によって基準時間が大きくかわることがわかった。

- ・普段ほとんど気にはしていませんでしたが、樹形モデル図を見ながら改めて、一次判定ソフトの介護の時間の推計の仕方を再確認することができました。
- ・調査の段階では全く気にする事なく行ってきましたが、改めて再認識することができた様に思います。
- ・実際に自分で計算したので。
- ・目で見えて自分でシュミレーションを体験できたので良かったです。見守りと一部介助の差により大きく変わることもあると勉強になりました。
- ・樹形モデルについて改めて説明して頂いたことで基本的な構造を理解できた。一方でその点数化の根拠や組み合わせの理由については詳しく理解できなかったと思います。
- ・樹形もモデル自体わかりました。
- ・説明が分かりやすかった。

普通

【その理由】

- ・一次判定の推計の流れがある程度理解できたように思います。
- ・苦手意識と資料の活字が小さくて苦労しましたが、演習を交え同テーブルの人達と確認しながら学ぶことができました。
- ・樹形モデルは学習したことだったので知っていた。改めて学習して文字が小さい為見にくかった。



●「介護認定審査会のポイント」についての感想

良くわかった	わかった	普通	わからなかった
7	20	1	0

良くわかった

【その理由】

- ・特記の大事さが良くわかった。
- ・調査員が作成した調査内容が審査会でどのように使用されているのかわかった。
- ・特記により介護の手間がどのようになっているのか、日頃の様子として回数、頻度を明確に記載する大切さを改めて知ることができた。
- ・資料を基に説明を受けたが、重要なところにポイントを置きながら説明をしていただいた為理解しやすかった。
- ・演習を通し理解することができた。
- ・以前審査会の委員をしていたことがあったので良く理解できた。
- ・特記の重要性が分かってよかった。

わかった

【その理由】

- ・良くわかったとまでは無理ですが、特記事項がより詳しいと判断がしやすいです。ポイントを知っておくともう少し分かりやすく調査票がかけられるかなと思います。
- ・演習で実際に体験したことで理解できた。
- ・今までは審査会をどのように行っているのかが不明だったが、一次判定の修正・確定の意味や介護の手間等をどのようにみているか理解できた。

- ・審査会は大変です。目も頭も痛くなりました。審査員の日で見ると、特記にこんな事書いてほしいなと言うことがわかります。特記事項の書き方も人それぞれでおもしろいですね。
- ・一連の流れがわかりやすく説明されていて良かった。単に認定調査や主治医意見書の結果が結果でないことが分かった。
- ・審査会の資料を初めて見てどのように基準時間を決めているのかわかった。
- ・要介護認定はどのくらいの「介護の手間」が必要なのかと言うことで、今まで認定調査を行った上で、できる⇔できないで判断し、行い特記事項にも書いていましたが、書き方が甘かった時もあったと思った。
- ・調査員は調査時の状況を極力正確に審査会メンバーに伝達できるようにまとめることが必要であることが再認識した。日常生活の中での具体的な介護の手間、どんなところが大変になっているかなど、二次判定で考慮できるように記載しなくてはと感じた。
- ・特記事項記入の際、対象者の状況をできるだけわかり易く記載しているつもりでいたのですが、改めて考えさせられました。介護の手間が審査会に伝わる様な記載に心掛けて行きたいと思います。
- ・特記事項への記載内容への意識と書き方等再認識できました。
- ・審査会ではどのようなことが必要なのか改めて分かったように思います。
- ・自分の理解不足もありますが、少ない情報（審査会の方は本人を目の前にする事ができないので）から判断する為介護度を左右する所を説明いただいたので良かったです。
- ・介護保険のモデル事業の時から業務に関わった経験があったので、審査の流れや基本的な仕組みを理解できたと思う。一方で「何故それを学ぶか」「認定調査員の業務としての関連性」は分からなかった。
- ・特記があることで判断根拠がうまれるので、その部分を審査会は見ていることが理解できた。
- ・特記の重要性→頻度 項目以外にある介護の手間の記載。
- ・二次判定、特記事項の内容の記入がいかに大切であるか今後の調査に生かしていきたい。



### ●「模擬審査会の開催」についての感想

良くわかった	わかった	普通	わからなかった
3	14	8	1

#### 良くわかった

##### 【その理由】

- ・調査票が不十分だと余計な時間がかかることを知り、今後気をつけます。
- ・資料を基に検討するが、情報が限られている中での審査会をイメージする事ができた。記載内容をどのように解釈するのか、個々の意見を検討しながら行うことで、対象者や介護者の手間を考えることができた。

#### わかった

##### 【その理由】

- ・審査会の流れ等分からないので、一度シュミレーションを見てから各グループでの模擬審査会に移ると分かりやすかったと思う。
- ・特記事項に記載がなければ認定に差がでる過程がわかった。
- ・実際に模擬審査会を体験したことで特記事項の記入など改めて「分かりやすく」「必要な情報を」入れなければと思った。

- ・実際模擬審査会を行うことにより、調査時の特記の方をどのようにすればその方の状態を想像してもらえるかわかった。
- ・一次判定を確定する前に修正するのは難しいです。審査員それぞれの判断もあるし、まずそこまで一つの調査票を読み込めるものでしょうか。調査員としては迷ったときは判断を任せて良いということがわかりました。
- ・限られた情報の中からその他人の状態のイメージし、判定結果と照らし合わせて結果が正しいかどうか話あったが、その時に特記がどれだけ詳細に記載されているかが大切だと分かった。
- ・特記事項を詳しく書くことで介護の手間として判断されることがわかった。
- ・実際に事例をあげられ、グループで話し合いを持ちましたが、特記事項はその人の考え方で違う視点があるのだなと思いました。
- ・特記事項が審査会の時点でどの程度反映されているのか疑問がありましたが、実際に模擬審査会を体験してみると、特記事項の重要性や不適切な状況と判断した根拠は具体的に記載すること、判断材料は多い方がよいことを感じました。
- ・実際に検討してみると、特記事項の内容で判断しなくてはならないので、判断材料はなるべく多く欲しいと感じた。特に不適切な状況と判断した場合は根拠を具体的に記載してほしいと思った。
- ・色々な方の目線で意見を出し合えたので、その方の介護度を変えるべきかどうかの根拠を学ぶことができました。
- ・判定を決定する手順が実際には難しかった。
- ・書面から本人の状態をイメージしながら判定していく大変さがわかった。

## 普通

### 【その理由】

- ・どのように進めていいのかわかりませんが、認定調査の内容や情報が少ないと判断は難しいと感じました。
- ・実際に体験することで一連の流れを知ることができた。
- ・調査票（特記事項）から状態をイメージする苦労を体感。みんなで考えてもこれでいいのかという結論がなかなかでず、時間がかかりました。でも、結論は出ないものであることとの説明を受け改めて事実を伝える大切さを実感できました。
- ・一次判定と二次判定の違いがよくわかりませんでした。うまく進められなかったです。
- ・審査会において特記事項が二次判定を変更する際の大きな材料になることは理解できた。一方で調査員が模擬審査会をしても今後の調査業務に参考になるかはわからなかった。
- ・時間が短く理解するのに時間がかかり普通です。
- ・特記事項の記入で頻度がいかに大切かということがわかりました。チェックがなくても必要な情報を伝えることによって日頃手間で反映されるということ。
- ・介護認定審査会の進行等短時間でもあり、スムーズな進行ができなかった。

## わからなかった

### 【その理由】

- ・流れが速く分からないまま進んでしまった。

以上です...

